2011年11月29日

平成23年11月度　第4回化学部会休日開催イベント報告

化学部会幹事　沢木

１．概要

○ 開催日時：　平成23年11月19日（土）15時～19時00分
○ 開催場所：　葺手第2ビル5階 AB会議室
○ 会　　費：　会員1,000円（準会員、修習技術者、協賛学協会員含む）、非会員2,000円
○ 参 加 者：

会員（化学部門）	15名	
会員（他部門）	10名	
準会員・修習技術者	9名	（他部門1名）
日本セラミックス協会員	1名	
非会員	1名	
講師	3名	（外部講師1名、技術士会員講師2名）
合計	39名	

２．プログラム

○15:00　主催者からの説明とお願い　…　沢木

○15:05　講演１「視覚と色彩」
東京工業大学大学院総合理工学研究科　物理情報システム専攻教授　内川　惠二氏
「色」は人間の視覚系が生み出す感覚である。物理的に色は存在しない。この色がどのような視覚系の仕組みによって作り出されるのかについてまず述べる。次に、色の見えが周囲の環境によって様々に変化する様子を出来る限りデモを用いて示す。最後に、感覚としての色がどのように定量化されるかを分かりやすく解説する。

○16:55　講演２「印刷の『色』とは」
ＤＩＣ株式会社　技術士（化学、総合技術監理）川原田　雪彦氏
カラー印刷とカラーインクとの関係を中心として、「グラビア印刷とインクジェット印刷」や「ＲＧＢ、ＣＹＭＫとカラーコード」等、素朴な疑問に答える形で、参加者各位と共に「印刷の『色』」を見直してみたい。

○17:55　講演３「液晶ディスプレイの原理と周辺技術」
富士フイルム株式会社　技術士（化学）吉成　伸一氏
液晶ディスプレイは液晶ＴＶやＰＣ用ディスプレイ以外でも様々な分野で使用されており、自発光型表示装置の代表例といえる。本講演では液晶ディスプレイの表示原理と周辺技術を説明し、最近のトピックスも紹介する。

○19:10頃　終了

３．コメント

（１）　他部門会員、修習技術者及び協賛学会員など多くの参加者があり、統一テーマ「光と色の科学」を掲げたことの効果が見られた。

（２）　３つの講演では、日頃あまり意識することがない「視覚」、「色」、及び「３原色」などに関する基礎的な事柄の解説から、最新の印刷技術や液晶技術に関するトピックスの紹介まで、互いに関連した内容を広範囲にわかりやすく講演いただいた。

（３）　講演はいずれも大変興味深いもので、しかも互いに関連していたため、全体としての理解も深まり、質疑応答も活発であった。

（４）　当日は、荒れた天候のせいもあり、懇親会への参加者は９名と少なかったのが残念であった。

（５）　若手Ｇ主体の休日行事も毎回少しずつスタイルを変えながら回数を重ねているが、毎月第３木曜日に開催される化学部会の月例会とは参加者層に明確な違いも見られ、意義のある定例行事となってきたと感じられる。

以上